

第5回富田林市建設工事総合評価審査委員会議事録

- 1 開催日時 令和5年10月10日（火）午前10時00分～11時00分
- 2 開催場所 市役所3階 庁議室
- 3 出席者 委員6名、担当課（総務課新庁舎建設PT）3名、事務局（契約検査課）5名、支援業務受注者（明豊ファシリティワークス㈱ 以下、MFW）3名
- 4 開催形態 公開（傍聴人 人）・**非公開**・一部公開（傍聴人 人）

【非公開・一部公開の理由】

会議の公開に関する指針3.（2）、（3）該当

5 次第

1. 開 会
2. 委員の交代について
3. 議事
 - （1）入札参加者数及び技術対話結果について
 - （2）評価方法について
 - （3）プレゼン・ヒアリングの実施方法について
4. その他

- 6 審議の経過及び委員会等の結果等 全文筆記・**要点筆記**・議事要旨
議事録公開時期：事業者選定後

3. 議事

- （1）入札参加者数及び技術対話結果について
・入札参加者数及び技術対話結果について事務局より説明

【委員】 技術対話について、15項目の提案があり採用可能となったのは2項目と説明があったが、不採用とした13項目について、理由を説明願う。

【事務局】 提案できる範囲として、技術対話・技術提案における留意事項で求めており、入札説明書にはそれ以外の実設計図から変更する提案は認めないと規定していたが、13項目に関しては、実設計図からの変更となるので「否」とした。

【委員】 事務局から説明があった通り、「否」とした項目であっても、契約締結後に協議ができるものと理解して良いか。

【事務局】 そのとおりである。提案者には、技術対話結果にその旨を記載し、通知している。

- 【委員】 参加者数が1者と報告があったが、昨今の建設市況から応札までは安心できない。
このまま提案までいただける見込みはあるか。
- 【事務局】 その点については、全く予想はできないが、これまで実施した2回のアンケートでは、本件参加者は2回とも回答していただいているため、関心はあると感じている。
- 【委員】 実施設計図から変更を認めないとのことであるが、内容を確認したところ、コスト削減につながる提案ではないか。他にもいくつかあるが、これらを認めないとなると、参加者は今後の参加をためらうかもしれない。不調の心配もあるので、そこは大丈夫なのかという気はする。
- 【担当課】 技術対話にあたり、参加者は、安くなる提案を求められているものと意図をはき違えているところがあった。
- 【委員】 入札段階では「否」となっている項目は採用しないが、契約締結後は協議もできるとしており、一定柔軟に対応できるものと理解してよいか。
- 【事務局】 はい。
- 【委員】 その部分が参加者に伝わっていればよいが、契約の内容として変更しない場合、その部分を整合性としてどこまで担保できるのか。
- 【事務局】 そのような内容にする予定はなく、今の段階では、採用を「可」とはできないが、契約締結後は発注者と協議ができるものと考えている。
- 【委員】 工事監理業務の業者は決まっているのか。
- 【担当課】 現時点では未定である。
- 【委員】 仮に設計者が工事監理業務を行うことになった場合は、設計者の意図として変更に対する可能性もあることについては、ご留意頂きたい。
- 【事務局】 了解した。

(2) 評価方法について

- ・技術審査採点シート等について、事務局より説明。

- 【委員】 評価については、委員の意見交換を踏まえて修正することが可能なのか。
- 【事務局】 プレゼン・ヒアリングを受けて評価を行い、各委員で結果を共有し、意見交換を踏まえて、必要に応じて評価を修正していただくことは可能と考えている。
- 【委員】 他市の事例で、一部の参加者から予定価格を超過した見積書が提出され、プレゼン審査後に当該参加者が失格となった。必要書類の提出時には、事務局で応札価格の失格要件について、ご説明いただきたい。

【事務局】 了解した。

(3) プレゼン・ヒアリングの実施方法について

・プレゼン・ヒアリングの実施方法について、事務局より説明。

【委員】 プレゼン・ヒアリング後の審査の流れや手順をご説明頂きたい。

【事務局】 プレゼン・ヒアリング後に各委員が評価を行い、その後事務局にて仮集計を行う。
その集計結果を委員で共有して、意見交換を行っていただき、必要に応じて再評価し、
最終集計を行って、技術審査の評価点を確定します。

【委員】 その後で実績審査の評価を報告し、つづいて入札見積書を開封し、全ての評価点を
集計するという流れでよいか。

【事務局】 そのとおりである。

【委員】 入札説明書にプレゼン時の投影はプロジェクター若しくはモニターと記載があるが、
プレゼンの準備もあるため早期に確定させ、伝えた方がよい。

【事務局】 モニターでプレゼンしていただくことを想定しており、参加者には事前に確認いた
だく予定である。

4. その他

【事務局】 参加者から技術提案書が届き次第、各委員に採点シートとあわせて提供を行う。

次回委員会は 11/15（水）の 13 時 30 分から開催予定。

選定業者名、評価結果、委員名簿等を速報として公表し、入札結果報告書と議事録
(6 回分) は、作成次第に公表する予定。

業者の選定後に各委員から意見をいただき、講評としてとりまとめを行う。